

地域活動協議会への支援状況(運営)

【旭区】(受託者:一般財団法人大阪市コミュニティ協会・(株)関西総合研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
I 地域課題への取組						
地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている	地域課題やニーズに対応した活動の実施	●防災意識の向上	平成26年6月～平成28年3月	●防災まち歩き ●避難ルートの確定	●平成25年度から防災点検まち歩きの実施、マップ・チラシ・次第などの作成を支援。判別に分かれてまちを歩き、まとめ作業及び報告書作成を実施してかわら版作成、ホームページ掲載などにつなげた。 ●平成27年度は委託事業の一環として避難路の確定作業を支援した。	●防災まち歩き全10地域で終了(平成26年6月～平成27年2月。合計322名参加) ●避難路は町会別および全体など地域に応じた支援。
		●地域内構成団体相互の良好な関係づくり	平成26年6月～平成28年3月	●構成団体長会議の開催	●平成27年度、6地域で実施し、まちづくりセンターが進行役となってワークショップ方式で地域活動協議会の理解促進と、活動方針などについて検討。若いメンバーの参加意欲増進につながった。	●平成27年度82名参加。特に若いメンバーによる意見の把握が可能となった。
	法人格の取得	—				
II つながりの拡充						
イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	●防災意識の向上(再掲)	平成26年6月～平成28年3月	●学校園における防災の分かれ道などの支援	●平成27年度は、小学校7校の土曜授業において、防災の分かれ道、新聞紙スリッパづくりなどを支援。小中学校からの担い手づくりを目指した。	●土曜授業:生江120名、大宮60名、高殿160名、古市120名、高殿南260名、新森650名、大宮西(中宮)400名。
			平成28年8月3日	●ドイツハンブルグからの青少年消防団高殿小学校交流事業	●ドイツハンブルグの青少年消防団8名を高殿小学校ジュニア防災リーダー14名といきいき学級の児童50名が受け入れ、交流事業として旭区まちづくりセンターは新聞紙スリッパづくりを提供した。	●ハンブルグ青少年消防団10名、高殿ジュニア防災リーダー14名、高殿いきいき学級50名、支援者約20名。
		●地域内構成団体相互の良好な関係づくり(再掲)	平成26年8月30日、平成27年8月29日	●旭区民まつりにて防災の分かれ道を提供	●それぞれ400名程度の市民が来訪、26年度は25年度の成果の展示、27年度は新たに来訪者にシールを貼っていただき、記録作成を実施した。	●来訪者は合計1万人以上になるが、ブース来訪者は500～600名程度と思われる。
				●3校連携合同防災教室支援、ジュニア防災支援	●今市中学校、太子橋小学校、古市小学校の3校合同防災訓練において、防災の分かれ道と新聞紙スリッパづくりを提供。3地域(高殿ジュニアリーダー、新森ジュニア防災団、生江防災ジュニア)におけるジュニア防災の立ち上げ支援を実施した。	●児童生徒合計250名、地域PTA150名、学校関係者30名など。
地活協を構成する活動主体同士や、地活協と他の活動主体との連携・協働が促進されている	地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)【地域活動協議会内部】	●円滑な組織運営	平成26年度～現在継続中	●円滑な組織運営のための働きかけ、ふれあい知り合い見学ツアー、ポップづくり研修会など	●日常的な地域との話し合いにおいて、部会ごとの会議開催、部会のあり方などを支援(防災部会と防犯部会を分ける、防災リーダーと防災部長の円滑な連絡体制、ふれあいサロンの相互訪問、お祭り用に役立つポップづくり研修など)。	●運営委員会、役員などの話し合いに参加。
		●構成団体の使いやすしい会議の場の提供	平成26年4月1日～	●あさひまちづくりサロンの運営	●平成26年4月1日開設。同年8月11日美装化終了。9月1日から祭日もオープン(区役所と協力)。平成28年7月末現在登録25団体(平成27年9月1日から5団体追加)。登録、受付事務を継続中。	●稼働率は50%程度。地域の団体に依頼されて区役所担当が予約する場合も多い。
		●学校と地域との連携強化	平成26年6月～平成28年3月	●学校園における防災の分かれ道などの支援を通じた地域との連携強化	●学校園が実施する土曜授業において、地域住民の参加を促進し、日常的な学校園と地域との交流実施を支援した。	●土曜授業参加者は前出。
	地域公共人材の活用	●外部の専門家による地域活動の支援	平成25年8月～平成28年7月	●プロボノによる地域活動の支援(ロゴ、だんじり支援、かわら版、フェイスブック、憩の家活性化支援)	●平成25年度:中宮かわら版、中宮だんじり、まちセンロゴ作成 ●平成26年度:古市フェイスブック ●平成27年度:大宮フェイスブック、清水かわら版 ●平成28年度:中宮憩の家活性化	●外部専門家の参加により、特に広報活動について進捗がみられた。平成28年2月5日プロボノ情報交換会(25名参加)
III 組織運営						
民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている	議決機関(総会・運営委員会等)の適正な運営	●地活協としての運営委員会の開催支援	通年	●運営委員会・総会の開催支援	●平成28年4月1日現在、6地域で運営委員会開催(新森:2か月に1回、大宮奇数月第3土曜日、中宮不定期、生江不定期、高殿偶数月第3月曜日、高殿南不定期)。ただし大宮地域が6月から休止中。	●平成28年度総会資料作成支援(各地域20名～50名程度の出席)。
		●予算の民主的な配分決定と適切な執行	通年	●会計担当者の支援 ●会計説明会出席と個別支援	●会計担当者が一人だけの地域に、複数の担当者(または部会ごと)を置いていただくよう支援。清水、大宮などが実施済み。今後新森、太子橋の支援を強化する。	●会計ソフトは10地域配布済み。支援強化必要。
		●補助事業及び委託事業の報告作成	平成26年3月、平成27年3月、平成28年3月後3か月	●報告書様式作成	●補助事業及び委託事業の報告書作成支援を実施	●会計担当者の悩みに対応して個別に支援した。
		●かわら版の作成支援 ●まつりの広報	通年	●かわら版担当者の支援 ●ポップ作成研修会	●全10地域で発行済。自主的発行6地域に加えて、古市、太子橋、生江、高殿南を支援中。 ●平成28年8月1日、ポップ研修会開催。まつりにおける広報活動の参考になったことと地域相互の情報交換に成果。	●かわら版自主的発行6地域(清水、新森、大宮、中宮、生江、高殿) ●ポップ研修会(名称は「書き方で魅力アップする講座」)15名参加
	多様な媒体による広報活動	●ホームページ作成支援	通年	●ホームページ担当者の支援	●すでに自主的作成を進める7地域(太子橋はフェイスブック)に加えて、担当者確保を支援、城北担当者確保済み。古市担当者確保進行中。	●ホームページ全10地域開設。自主的更新可能7地域(清水、新森、太子橋、大宮、中宮、生江、高殿)
IV 区独自取組						

※具体的な取組については「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」を参照